

平成30年 3月期 第1四半期
決算説明資料

平成29年 8月



目次

損益状況 <連結> 3頁

損益状況<セブン銀行 単体> 4頁

ATMプラットフォーム事業 5頁

決済口座事業 6頁

海外事業（米国） 7頁

連結子会社（国内・インドネシア） 8頁

※決算発表資料は、当社Webサイトからもご覧いただくことができます。
(<http://www.sevenbank.co.jp/ir/library/presentation/>)

■ 当第1四半期は、前年同期比**増収増益**

(単位：億円)

	16年度 第1四半期	17年度 第1四半期	前年差異	17年度 通期計画
経常収益	304	309	5	1,308
経常費用	210	210	0	921
経常利益	94	99	5	386
純利益	63	67	4	264

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

注3) 連結損益の為替レート

1米ドル：2016年度第1四半期=115.35円、2017年度第1四半期=113.60円

注4) 純利益は親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

■ 当第1四半期は、前年同期比**增收増益**

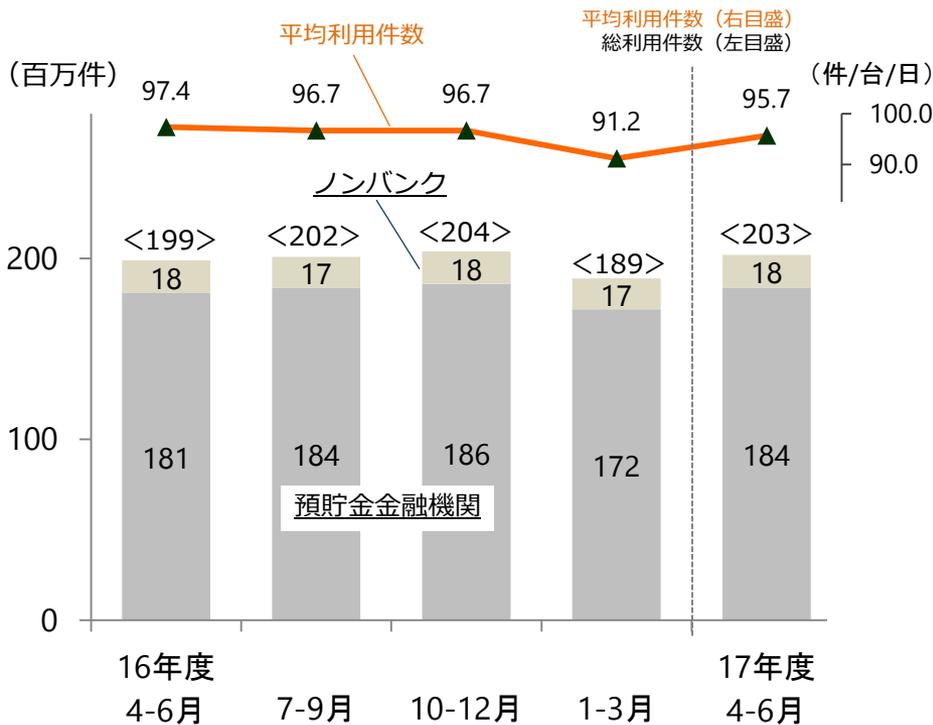
(単位：億円)

	16年度 第1四半期	17年度 第1四半期	前年差異	17年度 通期計画
経常収益	282	289	7	1,170
うちATM受入手数料	259	264	5	1,060
経常費用	182	182	0	760
経常利益	99	106	7	410
特別損益	△0	△0	0	△1
法人税等合計	30	33	3	125
純利益	68	73	5	283
EBITDA	141	146	5	571
期末ATM設置台数 (台)	22,686	23,553	867	24,300
平均利用件数 (件/台/日)	97.4	95.7	△1.7	94.7
総利用件数 (百万件)	199	203	4	820

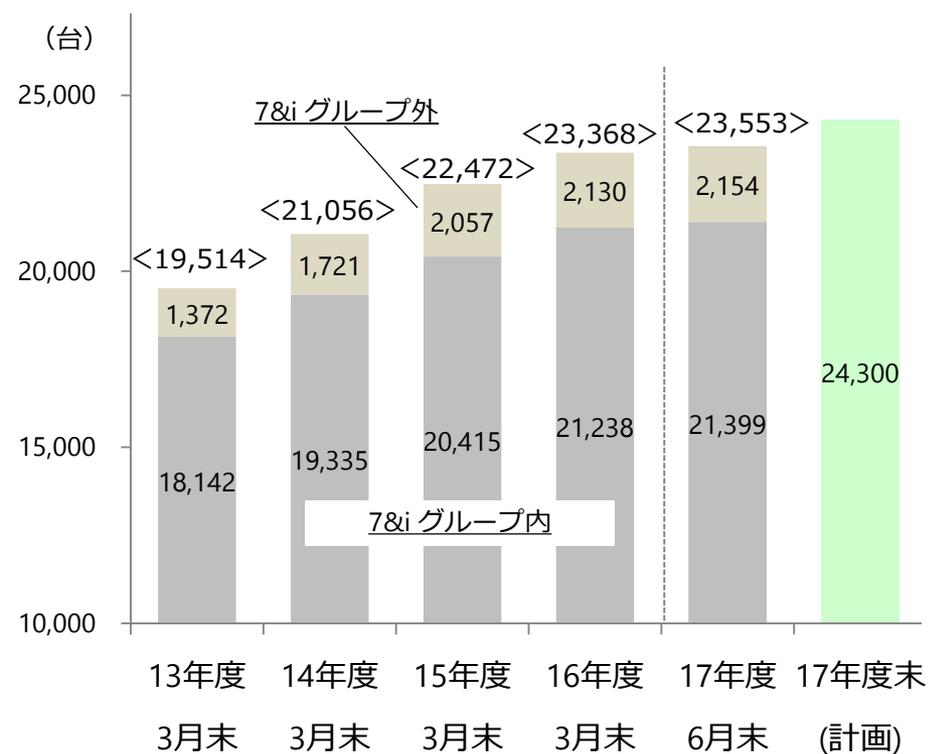
注) EBITDA=経常利益+減価償却費

ATMプラットフォーム事業

利用件数の推移



ATM台数の推移

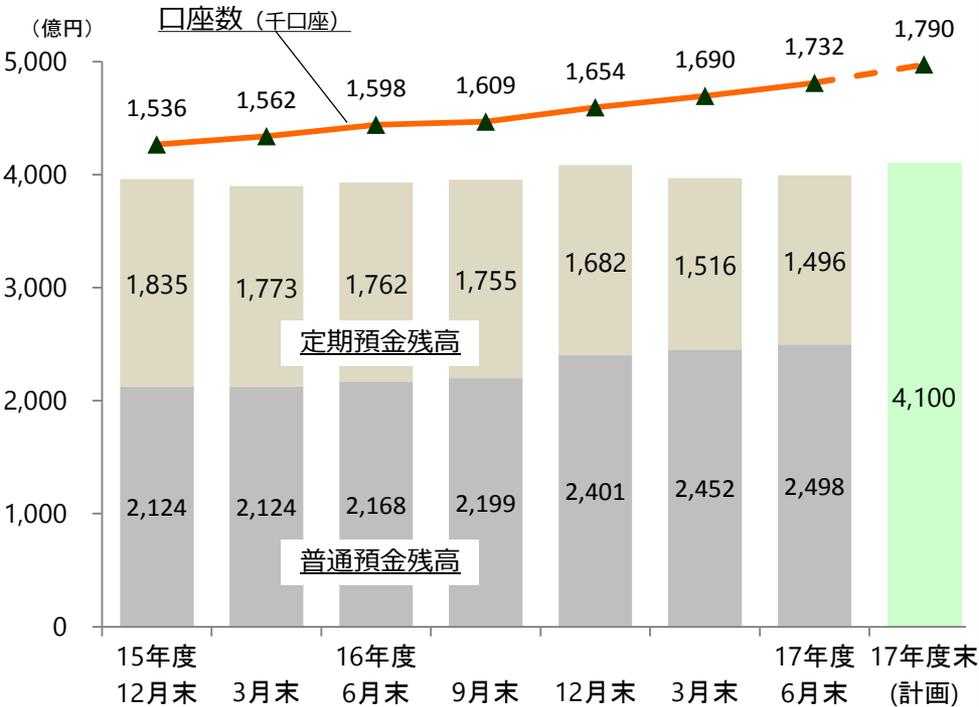


注) 平均利用件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず

- ・ 既存ATMビジネスは堅調に推移
- ・ 新たなATM利用スタイルの創造も確実に前進

決済口座事業

口座数と預金残高（個人）



個人向けローン

	17年 3月末	17年 6月末	17年度 計画
期末残高 (億円)	198	211	240

海外送金サービス

	16年 4月～6月	17年 4月～6月	17年度 計画
取引件数 (千件)	231	255	1,150

デビットサービス

	16年 10月～12月	17年 1月～3月	17年 4月～6月	17年度 計画
取引件数 (千件)	319	840	1,267	9,000

- ・ 預金残高、各サービスともに**計画通りに進捗**
- ・ グループ金融戦略は各社横断で、**早期実現に向け推進中**

海外事業（米国）



決算概要

（単位：百万ドル）

	16年度 第1四半期 (1月～3月)	17年度 第1四半期 (1月～3月)	17年度 通期計画
経常収益	19.2	17.8	122.8
経常費用	20.2	21.4	130.6
経常利益	△1.0	△3.5	△7.8
純利益	△0.6	△2.2	△5.0
EBITDA	0.7	△2.0	3.5

主要計数

	16年度 第1四半期 (1月～3月)	17年度 第1四半期 (1月～3月)
期末ATM設置台数（台）	6,451	5,829
うち自社保有（台）	4,970	4,762
期間総利用件数（千件）	9,126	8,660

注) 2017年6月末時点のATM台数 = 5,680台（自社保有4,646台、設置先保有1,034台）

- ・ ATM台数、ATM利用件数ともに低調
- ・ 金利上昇、設置条件の悪化によりコスト増

<米国セブン-イレブンへのATM入替設置>

- ・ 一部テスト設置を実施 システム面等を含め、**設置・稼働は順調**
- ・ 計画通り、2017年8月より**本格設置スタート**

国内



バンク・ビジネスファクトリー

- ・外部事務受託先は6社（2017年6月末）

受託先の拡大に加え、既受託先からの受託サービス拡大を図り、収益拡大を目指す

インドネシア



ATMi

- ・ATM設置台数は128台（2017年6月末）

現地金融機関からのATM運営受託がスタート

営業体制を強化し、更なる運営受託先の拡大を目指す

本資料には、株式会社セブン銀行、及びその連結子会社の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他ATMプラットフォーム事業、決済口座事業及び海外事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社、及びその子会社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。